

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【公開番号】特開2014-186174(P2014-186174A)

【公開日】平成26年10月2日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2013-61195(P2013-61195)

【国際特許分類】

**G 0 2 B 5/28 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 5/28

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月4日 (2015.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このような、従来の光学デバイスでは、内部空間と光デバイスの外部空間とが連通する凹部が形成されることにより、透明部材に金属膜が設けられていない部分が存在することとなり、長期に使用する場合に金属膜が剥離する危険性があった。

また、接合する透明部材に用いられるマスクは、同一形状のパターンであったために、透明部材に金属膜が設けられていない部分が重なって外部空間と内部空間とがつながる経路が形成されるため、高温高湿の使用環境において、透明部材にシミが発生することがあった。